

Cebu  
Philippines

JICA の支援によりセブ都市圏の都市開発ロードマップが完成  
—横浜市及び市内企業がロードマップに基づく事業形成を推進中—

横浜市は、フィリピン国セブ市と平成 24 年 3 月に持続可能な都市開発に向けた技術協力の覚書を交わしました。この覚書に基づいて、横浜市は、平成 24 年度から JICA が実施するセブ都市圏の長期開発計画の策定支援に協力してきました。



## 1. Mega Cebu Vision 2050

平成 24 年度には、メトロ・セブ（セブ市を含む 13 の自治体で構成）の都市開発構想「Mega Cebu Vision 2050」の策定に参加しました。これは、JICA が自治体と連携して海外の都市開発のビジョン策定を支援する初めての試みで、日本政府が推進する自治体の海外進出を JICA が支援する新たな ODA のモデルとなりました。一からデータを積み上げる従来のマスタープランの調査手法ではなく、目指す都市のビジョンとして横浜市をモデルとして取り上げ議論した上で、これまでセブで個々に検討されていた事業を取りまとめ、整合性を持たせて提案するアプローチをとったことで、調査開始から 6 ヶ月という短期間で一定の結論を導きました。また、現地カウンターパートは、2011 年に発足したセブ市を含む自治体、政府機関、民間セクター、市民団体等幅広い関係者で構成するメトロセブ開発調整委員会 (MCDGB) が担っています。



関連リンク：JICA ニュース（新たな ODA のモデルに）  
[http://www.jica.go.jp/topics/news/2013/20130430\\_01.html](http://www.jica.go.jp/topics/news/2013/20130430_01.html)  
メガセブビジョン・パンフレット等がダウンロードできます。

## 2. Mega Cebu Roadmap 2050

平成 25 年度からは、上記の都市開発構想を実現するためのロードマップの策定支援に参加しました。平成 27 年 6 月にその成果が「Mega Cebu Roadmap 2050」として取りまとめられ、同年 7 月には同ロードマップがフィリピン国家経済開発庁 (NEDA) のインフラ委員会で承認されるなど、当地では既に持続可能な開発に向けたガイドラインとして機能を果たしています。

ロードマップ調査では、10,000 分の 1 の縮尺で作成されたメトロセブ空間計画図や家庭訪問調査、交通量調査等の科学的根拠に基づいたアプローチで、メガセブビジョンの実現に必要な事業を 7つのサブロードマップ（短期・中期・長期事業）としてまとめています。



## 7 分野のサブロードマップ

- 1) 産業振興・投資促進による競争力強化
- 2) 都市構造・土地利用
- 3) 都市交通及び道路ネットワーク
- 4) 上水と排水・下水
- 5) 廃棄物管理
- 6) スマート SRP (約 300ha の埋立地) 開発
- 7) 広域行政管理

関連リンク：ロードマップ調査の最終報告書要約

<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000021998.html>

メトロセブ・ロードマップ・ビデオ (YouTube 動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=nyF6sAtMcZ8>

次頁に主なサブロードマップの動きを紹介します。

### 3. 廃棄物分野サブロードマップの動き

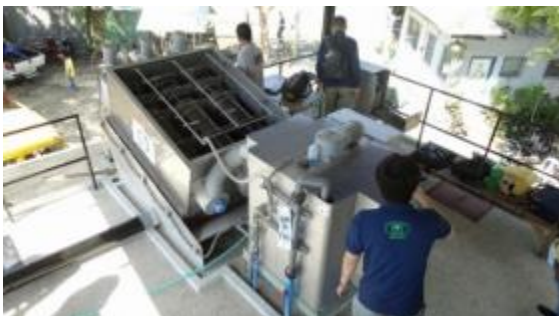
横浜市内企業の萬世リサイクルシステムズが、廃棄物分野のサブロードマップを先導する事業として、廃プラスチックのセメント工場向け代替燃料へのリサイクルに取り組んでいます。JICA 普及・実証事業では、これまでに燃料化し販売した数量は約100t、セブ市が実証プラントの従業員としてウェストピッカー15人を新たに雇用、市内ショッピングモール向けへのワークショップを開催することで店舗や工場から廃プラスチック回収が進むなど、分別回収の推進にも貢献しています。同社は、今後、日量50tの処理が可能なプラント建設により、セブ市や周辺都市の廃プラスチックのリサイクルの更なる推進を目指しています。



萬世リサイクルシステムズの実証プラント

### 4. 下水分野サブロードマップの動き

横浜市内企業のアムコンが、下水分野のサブロードマップを先導する事業として、家庭汚泥の脱水機器導入のための JICA 普及・実証事業を実施しました。この提案製品・技術は、目詰まりしにくく、ランニングコストが低いといった様々な長所が確認され、公共事業道路省 (DPWH) から高い評価を受けており、フィリピン他都市へも導入が推奨されています。



アムコンの実証プラント

\* 温室効果ガス排出量取引制度のひとつ。日本の低炭素技術等の普及や緩和活動の実施と共に、日本国の削減目標の達成に活用するための制度。(環境省HP

<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/bilateral.html> 参照)

MCDCB では、平成 27 年 12 月 16 日に開催された理事会においてロードマップのフラッグシップ事業である腐敗槽汚泥処理施設の建設に関しては、メトロセブ水道区 (MCWD) をカウンターパートとして横浜市がセブ側関係者と協議を進めていくことについて、満場一致で承認されました。



MCDCB 理事会 (コンソレーション市庁舎で開催)

### 5. 都市圏行政機構サブロードマップの動き

平成 27 年 10 月にセブ都市圏から選出された国会議員によって、都市圏レベルでのインフラ事業にかかる調整、計画、予算執行、進捗管理等の行政機構を担う機構として MCDA (Mega Cebu Development Authority) の設立法案が国会に上程されました。平成 28 年 1 月には同法案が下院の委員会の承認を受けており、早期の設立が期待されます。

### 6. 展望

セブ都市圏では交通渋滞や環境汚染等の都市課題が顕著になっており、都市インフラの整備が益々求められています。Y-PORT センターでは、JICA や市内企業と連携しながら、引き続きセブ都市圏のインフラ事業の形成を進めます。なお、フィリピン政府は日本政府との JCM (二国間クレジット制度\*) 構築に向けて覚書を交わすなど、今後、同制度の活用も期待できます。

貴社の事業分野や、技術・サービス等とロードマップとのマッチングに関心がありましたら、是非 Y-PORT センター事務局までご連絡ください。

## Danang Vietnam

ベトナム国ダナン市の都市開発アクションプラン策定を支援  
—JICA、ダナン市、横浜市の3者による都市開発フォーラムの開催—



ベトナム国中部に位置するダナン市において、JICA、ダナン市及び横浜市が「ダナン都市開発フォーラム」を平成27年12月21日～23日の3日間に渡り開催しました。5つの事業分野に関する分科会と、ダナン市の都市開発アクションプランについての議論が行われました。



ダナン都市開発フォーラム

### 分科会テーマと主な調査対象地

テーマ ：横浜市担当局	主な合同調査対象地
都市開発（適切な民間開発誘導手法） ：都市整備局	旧市街地エリア、東部海岸エリア、景勝地（ハン川沿い、ハイバン地区、五行山地区）
港湾（港湾・物流計画） ：港湾局	ティエンサ港、リエンチュウ開発候補地
廃棄物管理（3Rの推進） ：資源循環局	ごみ収集ルート（市内～中継施設～カンソン最終処分場）、排出源（ハン市場、町内会等）
下水道（合流/分流方式、維持管理） ：環境創造局	下水処理場（フーロック、ソンチャ）、東海外地域の下水施設（雨水吐き、下水管、集水ます等）
産業開発（企業誘致等の促進） ：経済局	ホアカイン工業団地、ダナンハイテクパーク、FPT City、ダナン大学村、ダナン駅

## 1. 分科会

5つの事業分野（①都市開発、②港湾、③廃棄物管理、④下水道、⑤企業誘致等の促進）にかかる現地調査および協議を行いました。横浜市の関係5局が現地を訪問し、ダナン市の各分野の現況・ニーズと横浜市及び市内企業の有する知見や技術に関して、闊達な情報交換が行われました。また、JICAの支援で策定が進められている都市開発アクションプランに基づく最初のステップとして都市間で協力できることについて議論を行いました。



ダナン市を縦貫するハン川沿いの街並み



東海岸地域の下水施設（雨水吐き）の調査



本邦企業の廃棄物処理にかかる技術紹介

廃棄物管理分野では、市内企業3社が有する技術をモデルケースにして、本邦技術のダナン市への導入可能性について協議を実施しました。

本邦技術導入の検討テーマ

市内企業	紹介した技術等
JFE エンジニアリング	廃棄物回収施設および廃棄物発電施設
萬世リサイクルシステムズ	廃プラスチックの燃料化リサイクル技術
武松商事	有機系ごみ（食品残渣）の飼料化リサイクル技術

2. フォーラムの成果と今後の展望について

フォーラムにおいてダナン市の都市開発アクションプラン案がまとめられました。このプランが2020年までの優先分野や横浜市との都市間協力のガイドラインとして活用されます。本市は3月下旬にダナン人民委員長に同プランの最終報告を行います。貴社において、ダナン市への事業展開にご関心がございましたら、是非、Y-PORTセンター事務局にご連絡ください。



ダナン市内の廃棄物中継所



ダナン人民委員長への表敬

【Y-PORTセンター事務局】  
横浜市国際局国際協力課  
〒231-0015 横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル3階  
Tel: 045-671-4396 Fax: 045-664-7145  
E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp